



みんなで案内の仕方を話し合います

現代アートは、まず自分の目で作品を見ることから始まります。真正面だけでなく、横から見たり、後ろから見たりいろいろな角度から観察することです。自分なりに自由に考えていたために、じっくりと見るのがポイントです。わたしの性格は、どちらかというとお節介のほうなので、すぐにお客さんのところへ行つて、

鑑賞するかどうかは市外のかたが多いようです。美術館は敷居が高いと思われがちですが、お子さんを連れて鑑賞することもできますし、なにより

お問い合わせ先  
総務課 ☎051111内線156

**応援隊募集—美術館を応援しよう**  
現代アートや美術館に興味をお持ちのかたは一緒に活動してみませんか。(現代美術館 ☎01127へお申し込みください)

— 応援隊はどのようなかたが加入していますか？  
人数は10人程度で、高校生や大学生、一般のかたなどでアートの興味を持つかたが加入しています。

— 鑑賞の楽しみ方はありますか？  
ありですか？

現代美術館は、作品と展示室が一体となった新しいタイプの美術館です。海外のアーティストが作った作品も展示されているので、万が一、作品に傷が付いたり破損したりすると、修理にとっても時間がかかり、展示室が閉鎖になる恐れがあるので、わたしたちの活動は重要な役割だと思います。

案内したくなりますが、じつところ案内したくありません。そのときは、みんなはどう感じたのか感想を話し合っ

— 今後の意気込みは？  
美術館で活動を始めてから、いろいろなかたと接することができました。これまで、たくさんのかたから「すばらしい美術館ですね」と言われ、とても誇りに思います。いまでは、美術館に来ることが本



鑑賞で気持ちよくお客様に心掛けています

— 現美応援隊として活動するきっかけは？

わたしは以前から芸術鑑賞に興味があり、何か役に立ちたいと思っていたので、3月号広報とわだを見て現代美術館の作品案内をするボランティアに応募したのがきっかけです。

— どんな活動をしていますか？  
展示室の監視と作品案内を行っています。

現代美術館は、作品と展示室が一体となった新しいタイプの美術館です。海外のアーティストが作った作品も展示されているので、万が一、作品に傷が付いたり破損したりすると、修理にとっても時間がかかり、展示室が閉鎖になる恐れがあるので、わたしたちの活動は重要な役割だと思います。

# ひとイニタビユー

## 現美応援隊 一本松きよさん(61歳)

十和田市現代美術館で、ボランティア活動をしている「現美応援隊」の一本松さん。いつも美術館に行くのが楽しみと語る一本松さんに、活動の状況をお聞きしました。

り市の施設なので、市民の皆さんには気軽に足を運んでほしいと思います。